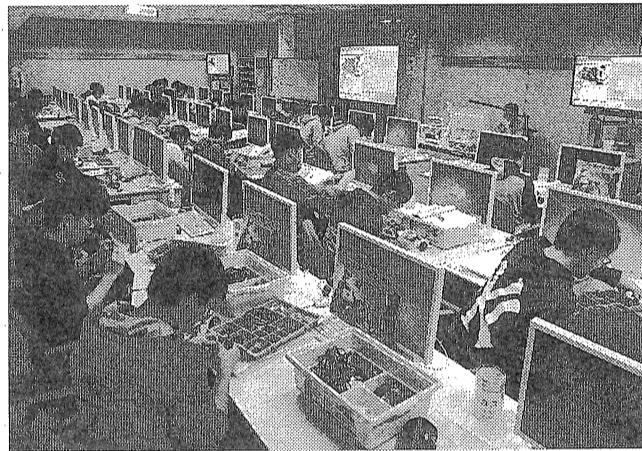


釧路工業高等専門学校
創造工学科教授（エレクトロニクスコース電気工学分野）
小松 正明

力 高専とは何か、高専の魅力
私が釧路高専に着任した
2010年9月、年度の途中でしたので卒業研究室（卒研生）を預かることはありませんでした。ある研究室で卒研生と就職先について話したところ、電気工学科全体で数名の学生が電力会社に内定していることを知り、大変驚きました。私の知る限り、大学で電力会社に就職できるのは優秀な大学院生だけで、それも電力会社とコネクションがある特定の研究室に偏っています。大学学部4年生がこんなにも電力会社に就職できるのか、不思議でなりませんでした。これはその後、私が北海道地区の電気学会役員を拝命し、電力会社の方々とお話しできました。私の昨年度の卒研生は東京電力に就職、他の研究室からの卒研生も北海道電力、中部電力、電源開発、などの電力エネルギー関連会社、その他大手企業へ就職し、就職率100%、今

「国際交流から宇宙へ～高専の魅力」



(2)

本科5年の電気工学専門実験の様子。

このことを理解するには高専とは何か、をあらためて説明しないといけません。さて、釧路高専は2016年で開校50年を迎えま

年も求人は1学科600社以上、この状況は何年も変わりません。

高専は5年制の「本科」攻科があり、本科卒業生には「準学士号」が与えられます。その仕組みは高

専攻科卒業生は「学士号」が学位授与機関から得られます。その仕組みは高

専攻科卒業生は「学士号」が学位授与機関から得られます。その仕組みは高

専攻科卒業生は「学士号」が学位授与機関から得られます。その仕組みは高

専攻科卒業生は「学士号」が学位授与機関から得られます。その仕組みは高

専攻科卒業生は「学士号」が学位授与機関から得られます。その仕組みは高

専攻科卒業生は「学士号」が学位授与機関から得られます。その仕組みは高

世界的産業創出地方から

力 大学に負けない高専の底

私は、高専生の魅力は卒業後にあると思つていま

す。学生が在学中にそれを

高専の教育を支える教員

は研究者でもあり、国内・海外学会の会員として、研究成績を国内、海外の学会

私の経験からもこれまで

で発表しています。これは

近く、高専生は「生徒」ではなく「学生」と呼ばれ、大學の研究者と同じです。大学の研究者と同様に、卒業生の職員が活躍しています。私が所属する米国宇航ステーションの設計で大変お世話になった三菱電機の部長さんは高専出身、JAXAでもたくさんの高専卒業のエンジニアや研究者に出会つて

います。JAXAで、国際地域振興協力会」という地域元企業101社からなる組織があります。地元に就職する卒業生も多く、いわば

れることが多いのです。釧路高専には「釧路高専の応援団」です。釧路高専はこれまで50年以上にわたつて道東地区の工学系高等教育機関としての役割を担つてきました。今後も、私が高専教員であることを知ると、自分は高

専出身であると紹介していく（次回は6月4日付に掲載）

「国際交流から宇宙へ～高専の魅力」

本科5年の電気工学専門実験の様子。

このことを理解するには高専とは何か、をあらためて説明しないといけません。さて、釧路高専は2016年で開校50年を迎えま

旭川にあります。高専は5年制の「本科」攻科があり、本科卒業生には「準学士号」が与えられます。その仕組みは高

専攻科卒業生は「学士号」が学位授与機関から得られます。その仕組みは高

専攻科卒業生は「学士号」が学位授与機関から得られます。その仕組みは高

専攻科卒業生は「学士号」が学位授与機関から得られます。その仕組みは高

専攻科卒業生は「学士号」が学位授与機関から得られます。その仕組みは高

専攻科卒業生は「学士号」が学位授与機関から得られます。その仕組みは高